

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(中津教育事務所)

No. 1

市町村名	プラン・計画等	目標		
		目標	行動計画	H28達成指標
宇佐市	学力向上アクションプラン	<p>1. 児童生徒の自立に向けた「主体的な学び」の確立 既習事項を活用した問題解決的な授業の展開</p> <p>2. 全国調査において、すべての教科で全国平均を超える。</p> <p>3. 大分県学力定着状況調査で全教科県偏差値を超える。</p> <p>4. 校長のリーダーシップによる学力向上・授業改善の取組の徹底</p> <p>5. 教科の課題を認識し、改善を図る教科部会の更なる充実。</p> <p>6. 小中の連携による互見授業の充実。</p>	<p>① 授業改善に関する行動計画 ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて 1. 学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫(新大分スタンダードに基づく授業) 2. 組織的に取り組む授業改善の充実 イ 習熟の程度に応じた指導の充実(補充指導の充実を含む) ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)</p> <p>② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画</p> <p>③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画 放課後や土曜日の教育環境の充実</p>	<p>○全国調査A問題の平均正答数 標準化得点 小102 中101</p> <p>○授業改善が進んできたといえる教員 90%以上</p> <p>○授業が楽しく、充実しているといえる児童生徒 90%以上</p>
	体力向上アクションプラン	<p>「自己の体力に関心を持ち、意欲的に体力向上に取り組む児童生徒の育成」</p> <p>—「瞬発力・敏しように」の向上に的を絞った組織的取組の推進(市)—</p> <p>—やる気を引き出す・意欲をつなぐ組織的・継続的取組の推進(学校)—</p>	<p>○アクションA —的を絞った全市の体力向上の推進— ・校長会と連携した市の課題に即した取組の提起 ・体力向上会議の開催(学期に1回、年間3回) ・市教育委員会による各学校の取組への指導・助言 ・体育専科教員と体力向上推進教員による全市の体力向上の取組の展開 ・モデル校の活動の紹介</p> <p>○アクションB —校長のリーダーシップによる組織的な体力向上の推進— ・学校の課題に即したテーマの設定や組織的な取組の設定(4月) ・校内体力向上検討委員会によるPDCAサイクルに基づいた継続した体力向上の取組 ・体育主任の責任の明確化と役割の強化 ・食育指導の充実 ・歯と口の健康教育の充実</p> <p>○アクションC —魅力ある体育授業づくりの推進— ・体育専科教員・体力向上支援員による授業公開、取組提起 ・体育専科教員による中学校ブロックごとの訪問指導 ・授業研究会、互見授業会の開催 ・教振体育部会を中心とした授業づくりの取組</p>	<p>[指標1] 運動好きな児童生徒の割合 27年度(89%) → 小学校男子(92%以上) 27年度(80%) → 小学校女子(85%以上) 27年度(89%) → 中学校男子(90%以上) 27年度(78%) → 中学校女子(80%以上)</p> <p>[指標2] 授業以外で運動・スポーツを実施する児童生徒の割合 27年度(94%) → 小学校男子(95%以上) 27年度(92%) → 小学校女子(93%以上) 27年度(94%) → 中学校男子(95%以上) 27年度(88%) → 中学校女子(90%以上)</p> <p>[指標3] 体力テストにおいて「瞬発力・敏しように」の関連項目の全国平均以上の割合 27年度(3/24項目) → 小学校男子(18/24項目) 27年度(6/24項目) → 小学校女子(18/24項目) 27年度(4/12項目) → 中学校男子(6/12項目) 27年度(3/12項目) → 中学校女子(6/12項目)</p> <p>[関連種目] 反復横跳び・50m走・立ち幅跳び・ボール投げの4種目に絞る</p> <p>※総合数値目標 小学校男女:全国平均以上の項目(30/48項目) 中学校男女:全国平均以上の項目(12/24項目)</p>
	不登校対策アクションプラン	<p>目標</p> <p>不登校生徒数:43人 出現率:2.7%</p>	<p>○取組 <計画・組織> 『不登校ゼロに向けた学校づくり』の推進 各学校の「不登校対策計画」の作成指導 各学校の校内不登校対策委員会の活性化指導 <未然防止> 信頼できる仲間づくり、学級づくり (絆づくり、居場所づくり、分る授業、学校行事、相談体制) 効果的な小中連携の在り方を求める 宇佐市いじめ・不登校対策研修会の開催 <初期対応> 欠席初期対応「あったかハート1・2・3」の徹底 学校の欠席者データの集計分析 <学校復帰支援> 適応指導教室との連携強化 スクールカウンセラーを活用した校内支援体制の充実 ○地域不登校防止推進教員の活用計画 (拠点校) 宇佐市立駅川中学校 (教育委員会)</p> <p>地域不登校防止推進教員の活動日数(標準) 市教委等での活動=週2~3日(市教委・適応指導教室・学校訪問) 拠点校での活動=週2~3日</p>	<p><計画・組織> ◎市町村及び各学校の「不登校対策計画」作成の推進 ◎市町村及び各学校の不登校対策組織の活性化の推進</p> <p><未然防止> ◎「絆」と「居場所」を意識した「魅力ある学校づくり」のサポート ◎研修会での講師、助言者としての活用 ◎中学校と小学校の連携推進</p> <p><初期対応> ◎市町村初期欠席対応システム構築の推進 ◎「あったかハート1・2・3」の取組推進</p> <p><学校復帰支援> ◎教育支援センターや関係機関、SC等との効果的な連携の推進</p>

平成28年度市町村教育委員会アクションプラン・計画等概要

(中津教育事務所)

No. 2

市町村名	プラン・計画等	H28達成指標	
		行動計画	H28達成指標
宇佐市	組織力向上計画	<p>ア 学校評価の改善</p> <p>◎教育長と校長との面談、校長会、教頭会、教務主任会、学校訪問等により以下の内容を徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の喫緊の課題と重点目標の一致を更に図る。 ・すべての学校で、重点目標達成に近づくことがイメージできる具体的な取組指標を設定している。 ・重点目標、達成指標、重点的取組内容(重点的取組、取組指標)のにより、PDCAサイクルが短期で行われるようになった。 <p>イ 学校運営体制の充実</p> <p>◎教育長と校長との面談、校長会、教頭会、教務主任会、学校訪問等により以下の内容を徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要主任等が自らの分掌等の教職員に対し、積極的に指導・助言を行うよう周知徹底する。 ・運営委員会で扱う議題や意思決定の流れの整理を行うよう周知徹底する。 ・主任制度や主任手当の趣旨の周知徹底を継続する。 <p>ウ 学校・家庭・地域の協働の推進</p> <p>◎教育長と校長との面談、校長会、教頭会、教務主任会、学校訪問等により以下の内容を徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域を含めた「協働4点セット」の推進を図る。 	<p>○全教職員が、重点目標と連動した分掌目標・自己目標の設定をする</p> <p>○学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施校数 小学校 75% 中学校 70%</p>
	主幹教諭の活用計画	<p style="text-align: center;">活用内容</p> <p>校長・教頭を補佐し、教員のリーダーとして学校運営組織を円滑に機能させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長及び教頭の指示を受け、その職務の一部を整理する。 ○分掌間の調整などを行い、学校運営が組織的・機動的になされるように進行管理する。 ○教職員の意見を取りまとめて、校長への意見具申や校長の経営方針の周知徹底などを行う。 ○担当する校務を整理する中で、教職員への指導・助言、指示を行う。 ○教職員のリーダーとして人材育成を担う。 <p>ミドルマネジメント機能として、人材育成として</p> <ol style="list-style-type: none"> ①運営委員会等で校長・教頭の意を体し、積極的運営に努める。 ②校長及び教頭と教職員とのパイプ役 ③教職員の上位職として、悩みや課題などについて、その解決のための的確なアドバイスを行う。 ④若手教職員に対して、授業力や教育相談の手法などを指導助言 ⑤ベテラン教職員の持つ、教科指導力や教育相談の手法を自校のみならず、近隣学校にも広める。 <p>主幹教諭が担当する校務分掌(各校の実態や実情に応じて、校長が適切に決定する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務に関する事項の統括 ・学校の重点課題への対応 ・運営委員会の統括 ・学年主任会議の統括 ・学校研究課題の推進 ・生徒指導に関する事項の統括 ・学校評価の推進 ・教職員の指導力向上への対応 ・学校評議員・PTA等への対応 ・地域学校間の連携の推進 	